

地域包括ケアシステム検討委員会

令和6年度のテーマ

「高齢者の生活を支援するための移動手段は
足りているのか～高齢者買い物弱者への支援」

< 第1回目 > 令和6年7月5日（金）13:30～15:00
出席者 16名

グループワーク「高齢者の移動支援～買い物について」

- ・「買い物支援」としてどんなものがあるか
- ・私たちにできる支援は何か



「買い物支援」としてどんなものがあるか

- ・ 商店による買い物バスツアーの実施
- ・ コミュニティで乗り合わせて買い物に行く
- ・ コンビニに買い物カートを置く



私たちにできる支援は何か

- ・ カフェやサロンに移動販売車を調整する
- ・ 地域のつながりが希薄になっているため、地域でのイベントを開催し、人のつながりを強化する
- ・ 買物困窮者の把握

< 第 2 回目 > 令和 6 年 11 月 29 日 (金) 10:00 ~ 11:45
出席者 15 名



1. 他市の取り組み事例紹介

① 兵庫県丹波篠山市

地元の商店による配達。高齢者の見守りも兼ねる。
地元の商店を利用することで商店の応援にもなる。

② 岡山県総社市

総社市版ライドシェア。地域のボランティアが
自家用車を使って買い物などの近所の移動をサ
ポートする。荷物の運搬も行う。

1. 他市の取り組み事例紹介

③愛知県春日井市

市、商工会議所、市内拠点のスーパー三者の公民連携による移動スーパーマーケット事業。福祉事業ではなく「シルバーマーケットの囲い込み」という考え方に基づくコミュニティビジネス。



2. グループワーク

高粱版買い物支援として考えられるものは何か

○本人が依頼した商品を持っていく支援

- ・ コンビニ配達への支援。ウーバーイーツのように登録者が配達する
- ・ 路線バスに商品を載せて運び、拠点からボランティアが配達
→ 既存の制度・サービスを活用した支援

○本人が商品を選べる支援

- ・ 商店がお客を送迎、集客するための支援金を出す。
- ・ 診療所や公民館等で商品や物を持ち寄る。(移動販売)
- ・ 生協注文書記入のボランティア

2. グループワーク

取り組むにあたって必要な情報、準備は何か

- ・地域のサービス情報を住民へ伝える仕組み
- ・市の情報がうまく活用できるよう横のつながりを円滑に行う